



「特別支援教育だより」始めます！！

日頃より、学校教育にご協力いただき、ありがとうございます。学校経営方針 本年度の重点項目【豊かで多様な感性を磨く】の(2) 特別支援教育の充実を目指し、今年度も「特別支援教育だより」を発行したいと思います。担当は、特別支援教育部です。毎月1回、発行します。宜しくお願い致します。



今月のテーマ

特別支援教育ってなあに？



学校では、集団行動を通して、学ぶ場面がたくさんあります。朝の登校から、授業、休み時間や給食、掃除など、子どもたちはたくさんの友だちと関わりながら、日々いろいろな場面に出会い、考え、行動しています。それは、とても大切なことです。ひとりひとり性格が違いますから、考え方も違えば、行動も違います。解決するのに時間がかかる子どももいれば、あっという間にできる子どももいます。

そんな中、人より感覚が敏感だったり、こだわりが強かったり、みんなのペースだとうまくついていけなかったりする子どももいます。その子どもたちは、そこが解決しないと次に進めなかったり、不安になったりします。敏感といってもいろいろあります。音が人よりも大きく聞こえたり、光が人一倍眩しく感じたり、肌や嗅覚の感覚などもあります。一つのことが気になると、納得するまでやらないと次に進めない子どももいます。「聞く」ことが苦手、「書く」ことが苦手な子どももいます。見通しがもてず、次に何をするのか分からないととても不安になり、次の活動ができない、そんな困り感をもった子どもたちが、集団の中で過ごしています。みんなが当たり前だと感じていることが当たり前ではなく苦しんでいる子どもたちがいます。

そんな困り感をもった子どもたちが、安心して学習できるように、その子どもに合った支援を行うのが特別支援教育になります。特別支援教育は、まずその子どもの実態把握から始まります。「どんな困り感をもっているのだろう。そして、その困り感はどこからきているのだろう。」子ども自身は、困り感に気付かず、ただただ困っています。周りの大人がいち早く気付き、環境を整えることで、子どもが安心して学べることができます。その支援を工夫し、子どものよりよい成長を手助けしていくのが特別支援教育なのです。

アンケートのご協力ありがとうございました。

昨年度の3月号では、保護者の皆様に特別支援教育だよりについてアンケートをとらせていただきました。一部ではありますが、紹介させていただきます。

- ・何か困りごとがあれば、相談できるんだと安心しています。
- ・皆が知ることで協力してくれる、理解してくれる人も増える。それが子どもたちが過ごしやすくなることにつながると思いました。
- ・すごく大切に関わりをされているのがよく分かりました。
- ・子どもたちへの接し方の具体例を知りたい。

いただいたご意見を今年度の指導・支援に生かしていきます。たくさんのご意見をありがとうございました。



♡♡♡ 来月のテーマは、「本校の特別支援教育について」です。

★★



とひとつこと



つぶやきコーヒー

・・・じつは子どもって、
おうちの方が思われている以上に
学校では頑張っているんですよ。

